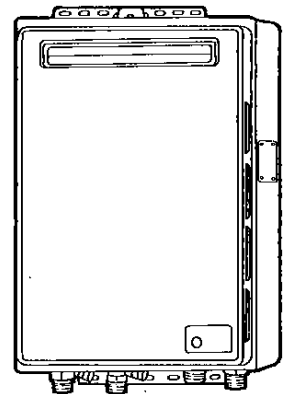
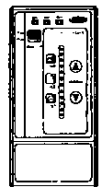
ガス湯沸器・セントラルタイプ

わくわく16パワフルミニ

33-530型　33-538型
33-531型　33-540型
33-532型　33-541型
33-533型　33-542型
33-534型　33-543型
33-537型　33-544型

型式名　YS1619RC
YS1612RC
YS1612RGC
YS1612RQC
YS1612RMC
YS1614RC
YS1614RXC

33-530型

(リモコンタイプのみ)

取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

大阪ガス

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス湯沸器〈セントラルタイプ〉をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。
この「取扱説明書」はリモコンタイプとリモコンレスタイプについて併記してあります。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

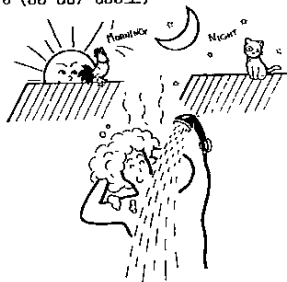
もくじ

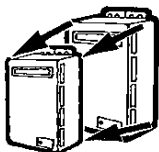
特徴・機能のご紹介

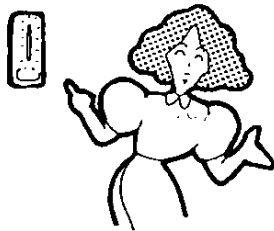
パワフル16号

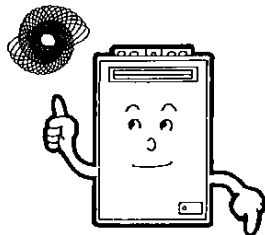
高性能16号のビッグパワーで冬場のお風呂でもスピーディーなお湯はり!!

静音タイプ45dB(A)

お隣りに気がねなく、早朝のモーニングシャワーや深夜のご入浴にお使いいただけます。(33-537・538型)

軽量・コンパクト

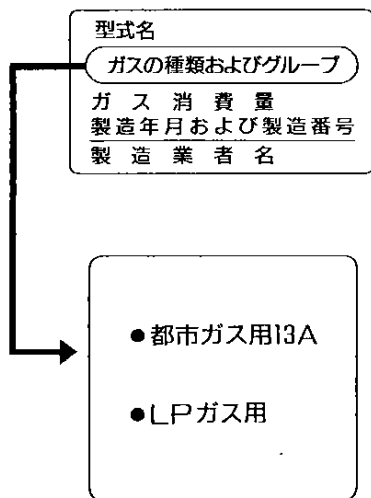
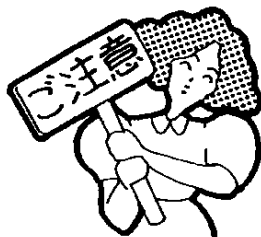
建物の美観を損なわず、お湯を頻繁に使う台所や出窓下などお好みの場所に設置できます。

簡単操作の湯温設定

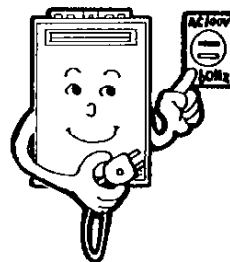
コントローラの湯温調整ランプの位置を合わせるだけでお好みの湯温が得られます
(リモコンタイプの場合)

安定湯温でいつも快適

水量や水温が変化しても電子コントロール方式で自動的にガス量を制御しますからいつも安定した湯温が得られます

必ずお守りください

使用ガスについてのご注意

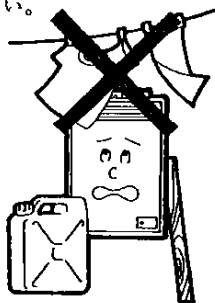
●使用ガスの確認

器具本体前面右下にはってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。

●転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

●使用電源のご注意

この器具はAC100V、60Hz用です。器具の銘板に表示してある電源(電圧・周波数)とお宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

器具の設置

●器具の設置・工事は、お買い求めの販売店、または大阪ガス支社に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。

火災予防について

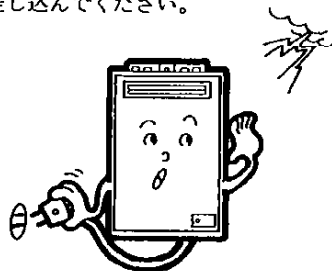
●壁や可燃物等から十分離れている場所で！
●器具の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。
★特に、排気口は洗たく物などでおおわないでください。

やけどのご注意

●使用中および消火直後は、器具の排気口が高温になっていますので、絶対に手を触れないでください。
●シャワーなど使用後すぐに再度お使いになるときは、手で湯温を確認してからお使いください。(一瞬熱いお湯が出ることがありますのでご注意ください。)

用途について

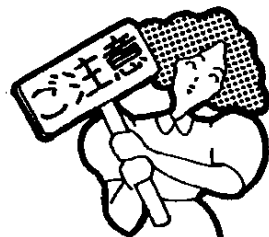
台所・シャワー・洗面などの給湯および風呂のお湯はり以外の用途には使用しないでください。

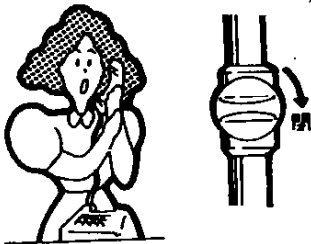
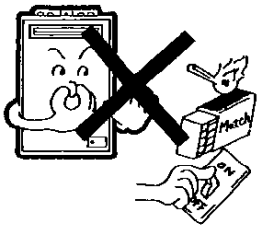
落雷のおそれがある時

●落雷による一時的な過電流で、電子部品が故障することがありますので、雷が発生しているときは、ご使用を中止して、すぐに電源プラグを抜いてください。
●その後、雷が遠ざかったことを確認してから、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。

市販の補助用具について

この器具の付属品・補助用具以外は使用しないでください。不完全燃焼などの原因になります。

飲用にお使いのとき

器具内に長時間たまった水は、飲用または調理に用いないでください。

ガス事故防止

●ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元栓を閉め、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

●万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、電気器具に触れたり(スイッチの入、切や電源プラグの抜き差しなど)しないでください。火や火花で引火し爆発事故をおこすことがあります。

停電時の処置

●停電すると自動的にガスが止まり、燃焼が停止します。

●再通電してもすべてのスイッチは「切」の状態になっています。9～12ページの「使用方法」にしたがって操作してください。

断水時の処置

●断水時は給湯栓を閉め、コントローラの運転スイッチを切っておいてください。

●再通水したときは、9～12ページの「使用方法」にしたがって操作してください。

異常時の処置について

使用中にふだんと違った状態になったときや、地震、火災の場合は、すぐ使用をやめて電源プラグを抜き、ガス元栓を閉めてください。

●詳しくは16～19ページの「故障かな?と思ったら」の項にしたがって処置をしてください。

凍結に注意

冬期は、寒冷地だけでなく、暖かい地方でも急な寒波のため器具および配管内の水が凍って、器具や配管を破損することがあります。

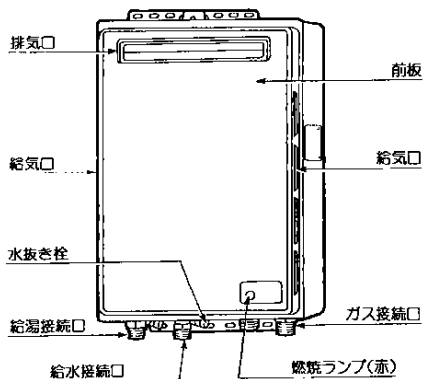
●詳しくは13・14ページの「凍結予防方法」の項にしたがって処置をしてください。

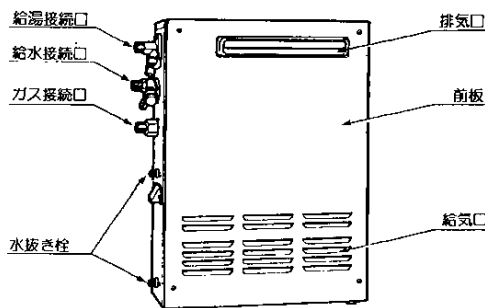
長期間使用しない場合

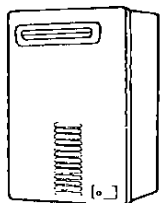
必ずコントローラの運転スイッチを「切」にし、ガス元栓を閉めてください。
又、冬期には、凍結防止のための処置を行ってください。(13・14ページ参照)

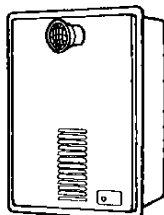
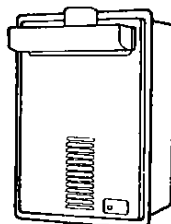
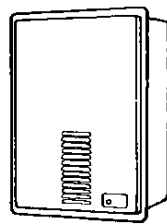
各部のなまえと扱いかた

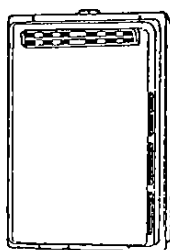
器具本体

■屋外壁掛設置型

33-530・540(壁掛設置タイプ)

■屋外据置設置型

33-538型(据置設置タイプ)

■PS設置式標準設置型

33-531・541型
(PS標準タイプ)

■PS設置式扉内設置型

33-532・542型
(扉内設置タイプ)

33-533・543型
(前方排気延長タイプ)

33-534・544型
(後方排気延長タイプ)

■屋外壁掛設置型

33-537型(壁掛設置タイプ)

メーンコントローラ (リモコンタイプのみ)

※"優先ランプ"って何?

別売のシャワーコントローラをお取付けの場合に、メーンコントローラの優先ランプが点灯していると湯温調節がメーンコントローラでできます。
ランプ消灯時には、メーンコントローラでの湯温調節はできません。シャワーコントローラの"優先スイッチ"によって切替えることができるようになっています。これは、シャワーご使用中に他から急激な湯温変化をさせないように、安全のために付けられています。

シャワーコントローラ（別売部品）

優先スイッチ

シャワーコントローラ側で湯温調節するときに押します。再び押すことにより、メーンコントローラ側に切替わります。

シャワーコントローラ

優先

優先スイッチ

操作方法

1. メーンコントローラの運転スイッチを入にする。運転ランプが点灯します。
2. 優先スイッチを入にする。優先ランプが点灯します。
3. 湯温調節スイッチで温度設定する。
4. 給湯栓を開く。燃焼ランプが点灯します。
5. 使用後は優先スイッチを切にする。優先ランプが消える。

37　42　48

低　高

湯温調節

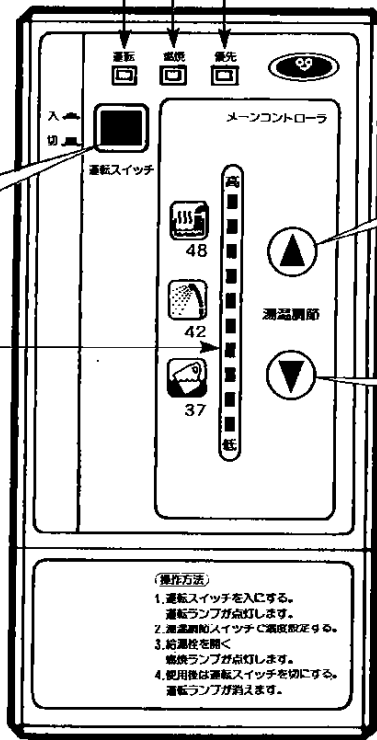
運転

燃焼

優先ランプ(黄)

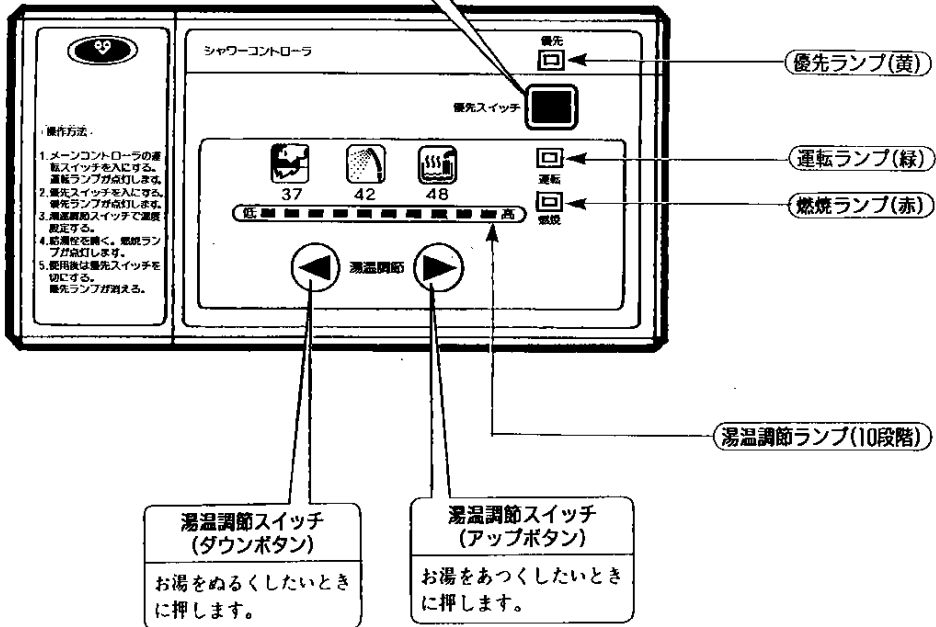
運転ランプ(緑)

燃焼ランプ(赤)

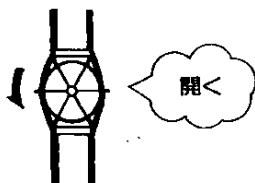
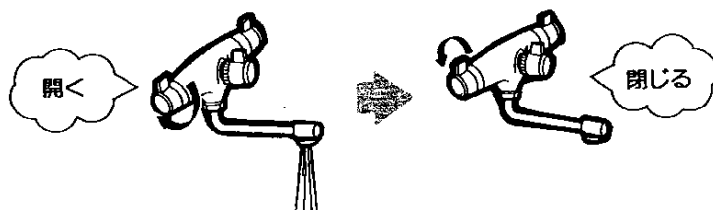
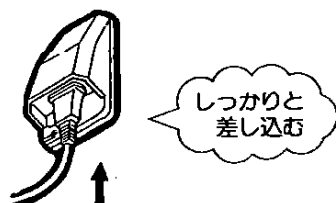
湯温調節ランプ(10段階)

湯温調節スイッチ（ダウンボタン）

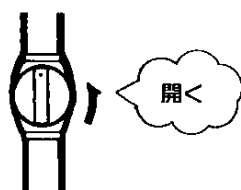
お湯をぬるくしたいときに押します。

湯温調節スイッチ（アップボタン）

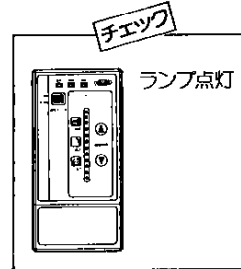
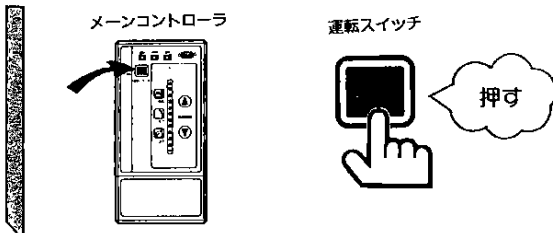
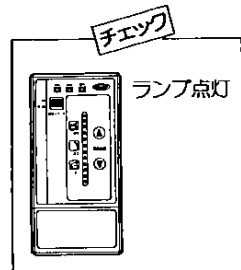
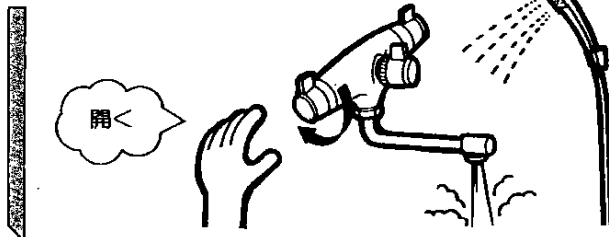
お湯をあつくしたいときに押します。

使用方法 初めてお使いいただくときに

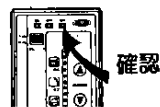
ご使用前の準備と確認

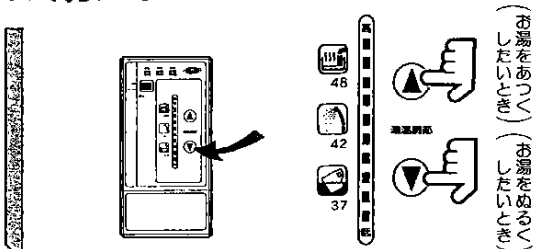
1 給水元栓を全開にする

2 給湯栓から水の出ることを確認

3 電源プラグをコンセントに差し込む

通電後、約5秒間は器具を操作しないでください。

4 ガス元栓を全開にする

メーンコントローラ(リモコンタイプ)を使った場合

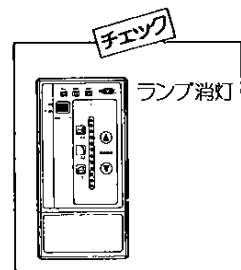
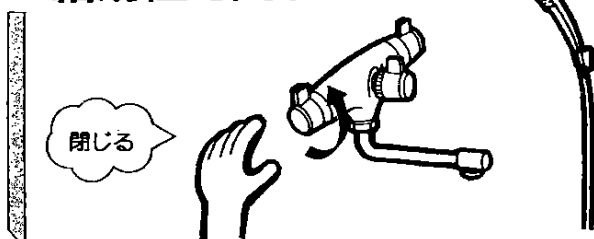
お湯の出しかた

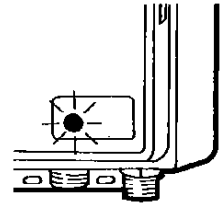
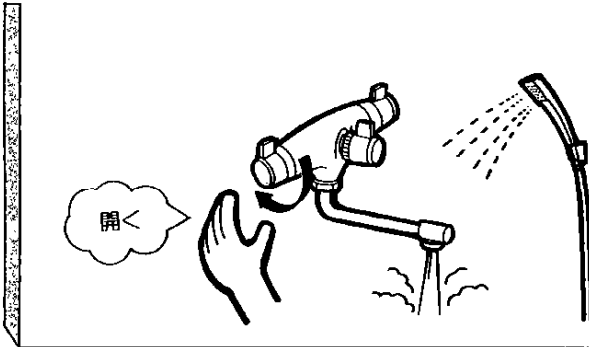
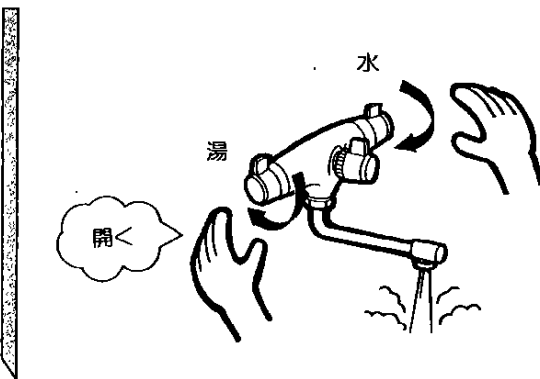
1 運転スイッチを押す

2 給湯栓を開く(点火)

湯温調節のしかた

シャワーコントローラ(別売)をお使いの時にはメーンコントローラの優先ランプの点灯確認。

湯温調節スイッチを押す

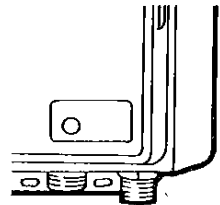
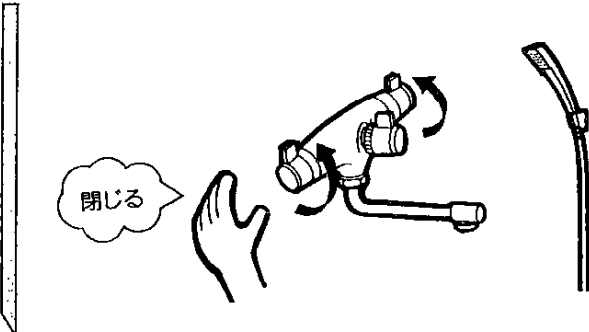
なお、湯温調節表示の数値は、めやすの温度です。

メーンコントローラの優先ランプが消灯しているときは、メーンコントローラ側で調節できません。このようなときは、シャワーコントローラの優先スイッチを押して、メーンコントローラ側へ優先を切替えてください。

お湯の止めかた

給湯栓を閉じる(消火)

リモコンレスタイプの場合

お湯の出しかた
給湯栓を開く(点火)

湯沸器本体の燃焼ランプ(赤)点灯。
約60℃のお湯が出ます。

湯温調節のしかた

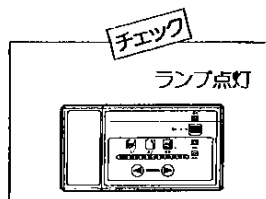
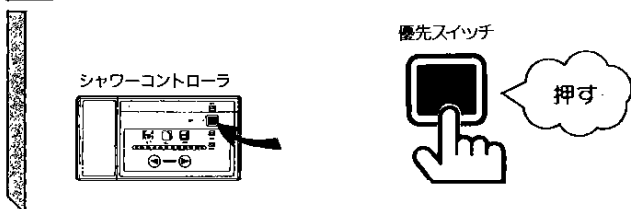
湯水混合栓で水と混ぜ適温にしてお使いください。

お湯の止めかた
給湯栓を閉じる(消火)

自動的にバーナが消え湯沸器本体の燃焼ランプ(赤)が消灯します。

シャワーコントローラ(別売部品)を使った場合

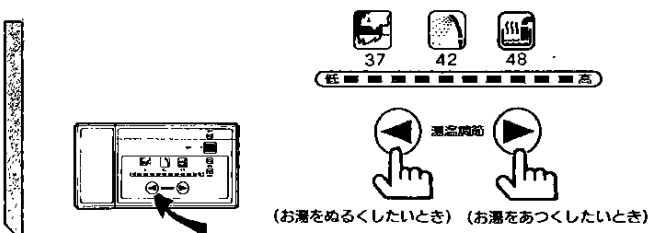
メーンコントローラの運転スイッチを「入」にする。

お湯の出しかた

1 優先スイッチを押す

2 給湯栓を開く(点火)

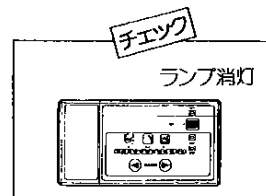
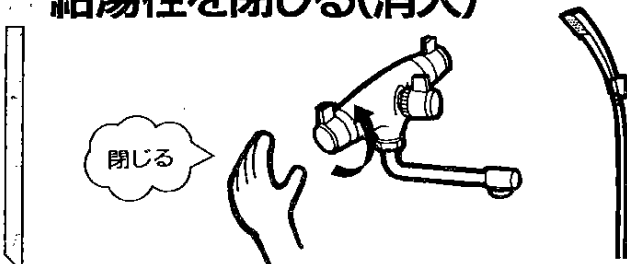
湯温調節のしかた

湯温調節スイッチを押す

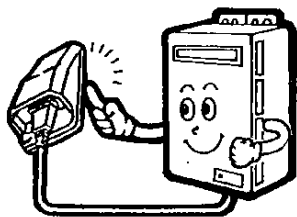
(お湯をぬるくしたいとき) (お湯をあつくしたいとき)

なお、湯温調節表示の数値は、めやすの温度です。

シャワーコントローラの優先ランプが消灯しているときはシャワーコントローラ側で調節できません。このようなときは、優先スイッチを押して、優先ランプを点灯させてください。

お湯の止めかた

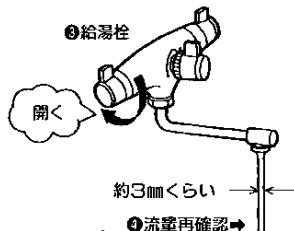
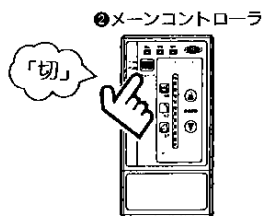
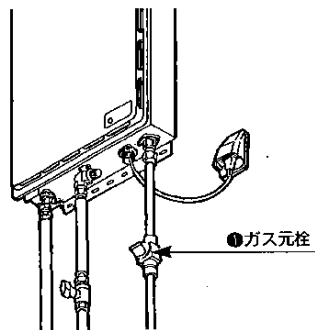
給湯栓を閉じる(消火)

凍結予防方法

❶凍結すると器具や配管が破損し高額の修理費がかかる場合があります。凍結による修理は有料となっております。
❷凍結したまま使用されますと器具に異常が生じる場合があります。凍結がとけた後、各部分の作動を確認の上、ご使用ください。

1 凍結予防ヒーターによる方法

● この器具には、気温が下ってくると自動的に器具内を保温する凍結予防ヒーターを組込んでいます。
● 凍結予防ヒーターは凍結を予防するもので外気温が極端に低くなる恐れのある場合はこの凍結予防ヒーターだけでは効果ありませんので、次の2、3の方法をおとりください。

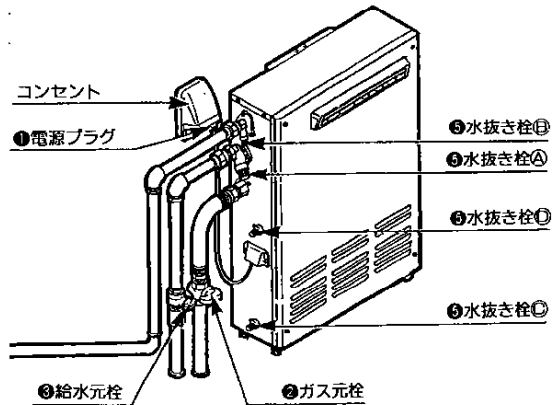
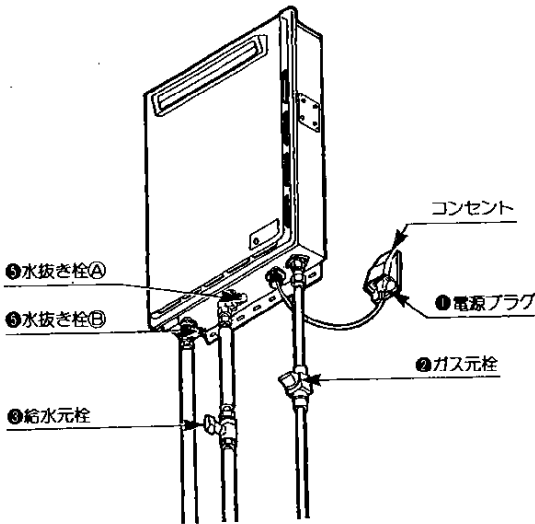
2 給湯栓から水を流す方法〈一般的な方法〉

❶ガス元栓を閉じる。
❷メーンコントローラの運転スイッチを切る。
❸給湯栓より少量の水〔1分間に(200cc以上)特に寒い日は多い目に〕。
❹約30分後に再度流量確認。

❷メーンコントローラ

ご注意 ●凍結予防ヒーターは電源プラグを抜くと作動しません。器具の水を抜いて凍結予防処置を行うとき、または緊急の時以外は電源プラグを抜かないでください。

3 器具の水を抜く方法〈入居前や長期不在の場合〉

● この方法は、給水配管の凍結予防はできませんが、凍結による器具破損を予防するのに最もよい方法です。次の操作手順で器具の水を抜いてください。(水受け容器を必ず用意してください。)

❶電源プラグをコンセントから抜いてください。
❷ガス元栓を閉じてください。
❸給水元栓を閉じてください。
❹すべての給湯栓を開いてください。
❺水抜き栓Ⓐ、水抜き栓Ⓑを左に回して外してください。
据置タイプは、水抜き栓Ⓒ、水抜き栓Ⓓも外してください。
❻電源プラグを再度コンセントに差し込み約10秒後にコンセントから抜いてください。(バイパス通路の水抜きのため)
● 次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

● 再度ご使用のときの手順
❶水抜き栓Ⓐ、水抜き栓Ⓑ(据置タイプは、水抜き栓Ⓒ、Ⓓも)をしっかり取り付けてください。
❷給水元栓を開き、給湯栓から水が出るのを確認してください。
❸必ずすべての給湯栓を閉じてから、9〜12ページの「使用方法」にしたがってお使いください。

点検・お手入れ

点検・お手入れの際のご注意

❶点検・手入れの前には必ずガス元栓を閉じ、運転スイッチを「切」にして器具が冷えてから行ってください。

❷器具の前板などははずさないでください。

［器具やコントローラは絶対に分解しないでください。］

点検

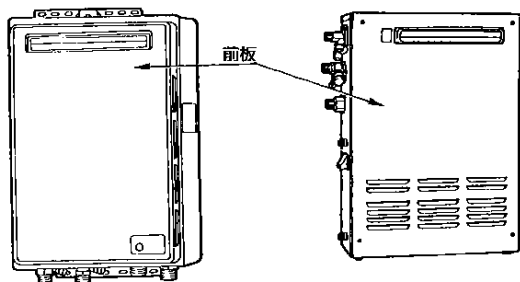
❶器具の上や周囲に燃えやすいものを置いていませんか。

❷排気口や給気口をふさいでいませんか？

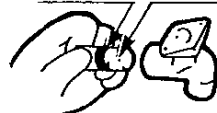
（排気口、給気口は6ページ各部のなまえを参照ください。）

お手入れ

1 前板のそうじ

コントローラ・器具本体の外装のそうじは、やわらかい布に中性洗剤をひたし軽くふいてください。

2 水フィルターのそうじ

水フィルターに配管内のゴミ、砂がたまりますとお湯が出にくくなります。その場合は給水元栓を閉め、水抜き栓Ⓐを左に回して水フィルターを引き出してそうじしてください。

水抜き栓Ⓐ　水フィルター

点検・お手入れ後の確認

- 点検・お手入れの後は、ガス元栓を開いて運転スイッチを「入」にし、給湯栓を開き、器具が正常に作動しているか確認してください。
- 万一、異常な燃焼、異常音、異臭を感じられたときは、お買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。

定期点検のおすすめ

- ご使用上支障がない場合でも、安全により長く、ご使用いただくために、2~3年に1回程度の定期点検をおすすめします。
- 本製品は、一般家庭用の製品です。
  業務用にご使用の場合は器具を正常にお使いいただくために、定期点検（年2回程度）をお受けください。（有償）
  詳しくは、お買い求めの販売店または大阪ガス支社へご相談ください。

ご注意

❶洗剤が残らないようにふきとってください。シンナーや、ベンジンなどでふかないでください。（本体の色、表示ステッカーの字が消えます。）

❷コントローラには、故意にお湯や、洗剤などをかけないでください。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思われたらただちに使用を中止し、修理・サービスをお申しつけになる前につぎのことをお調べください。

異常報知(OKモニター)しない不具合と、その処置方法

こんなとき(現象)／お調べいただくこと(原因)		着火しにくい。給湯栓を開いても着火しない、	使用中に消火した、消火しやすい。	使用中、湯温が極端に変動する。	高温の湯が出ない。	異常な音をたてて燃焼する。	過圧逃し弁から常時水が出る。	処置方法	参照ページ
ガス元栓の開きふじゅうぶん。				○	○			電源を切ってからガス元栓を全開にする。	9
給水元栓の開きふじゅうぶん。		○	○	○				給湯栓をいったん閉じてから給水元栓を全開にする。	9
水圧が適切でない。	低い	○	○	○				点検、修理を依頼する。(他に原因がないとき)	—
	高い						○		—
水フィルターのつまり。		○	○	○				つまり除去又は点検、修理を依頼する。	15
断水している。		○	○					使用をいったん中止する。	5
凍結している。		○						解凍するまで使用を中止する。	13・14
バーナの逆火。						○		点検、修理を依頼する。	—
湯温調節が適切でない。					○			「使用方法」参照。	10~12
給湯栓の開き不足。		○	○	○				給湯栓を全開にする。	9
水量センサーの故障。		○	○					点検、修理を依頼する。	—
停電している。		○	○					「停電時の処置」参照。	5
漏電安全装置の作動。		○	○					「安全装置の種類とその働き」参照。	19

- このほかに異常があるときや、おわかりにならないときは、お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガス支社へご連絡ください。
- 不完全な処置は事故のもとになりますので修理は絶対にお客さまご自身でなさらないでください。

●こんな場合は異常ではありません。

❶使いはじめは給湯配管の冷水を追い出すまで、しばらく設定温度のお湯が出ません。

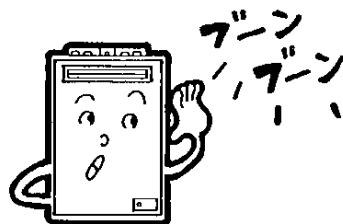
❷ご使用後すぐに、再度お使いになるときは、湯温が不安定になることがあります。

❸給湯栓を2ヵ所で同時に使用されますとぬるくなったり、湯量が少なくなることがあります。

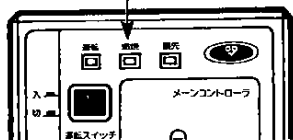
❹初回点火時や長時間使用しなかった後はガス配管中に空気が入っていることがあり、バーナに着火しないときがあります。このときには燃焼ランプが点滅してお知らせしますので、一旦給湯栓を閉じて約5秒間待ち再び給湯栓を開いてください。

(器具本体・シャワーコントローラも同様)

❺給湯栓を極端に絞りますと、バーナが消火し、水に変ることがあります。

❻給湯栓を閉じた後も送風機がしばらくまわっていますが(約7分間)異常ではありません。

❼排気ガスの水分が細かい水滴に変わるため、寒い日に排気口から湯気が出ることがあります。

❽水の中の空気が分離して気ほうとなるため給湯栓を絞るとお湯が白くなることがあります。

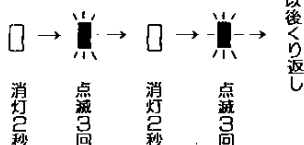
❾給湯栓を急に止めるとゴツンと音がすることがありますが、これは水が急に止まるために発生する音です。
(ゆっくり操作してください)

■異常報知(OKモニター)について

●器具本体、メーンコントローラ、シャワーコントローラ(別売部品)には、器具本体に不具合が生じた時、各種ランプの点滅によって、不具合の原因を知らせる異常報知(OKモニター)機能が付いています。

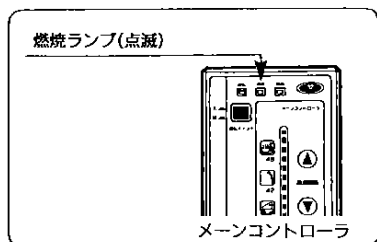
〈活用の仕方〉

❶燃焼ランプの点滅回数をチェックします。(点滅回数とは、消灯2秒間と次の消灯2秒間の間の連続した点滅の回数を指します。)

❷右にOKモニターの一覧表がありますので、チェックした点滅回数と一致するNoをさがしてください。

〈例〉

● 上記のような点滅をくり返している場合、点滅回数は3回なので、右表で見ると、No.3の「ハイリミットSW又は温度ヒューズ作動」が原因であることが判ります。

(器具本体・シャワーコントローラも同様)

No.	燃焼ランプの点滅周期	内容
1	点滅数1	バーナ不着火
2	点滅数2	バーナ失火
3	点滅数3	ハイリミットSW又は温度ヒューズ作動
4	点滅数5	給湯サーミスタ異常
5	点滅数6	送風機異常
6	点滅数7	湯温が異常高温
7	点滅数8	バーコン(電装基板)異常

安全装置の種類とその働き

❶立消え安全装置
万一使用中にバーナの炎が消えたときは、この安全装置が働いて自動的にガスを止める装置です。

❷過熱防止装置
使用中器具本体内の温度が異常に高くなったときは、この安全装置が働いて自動的にガスを止める装置です。

❸空だき安全装置
熱交換器が異常な温度上昇をしたときは、この安全装置が働いて自動的にガスを止める装置です。

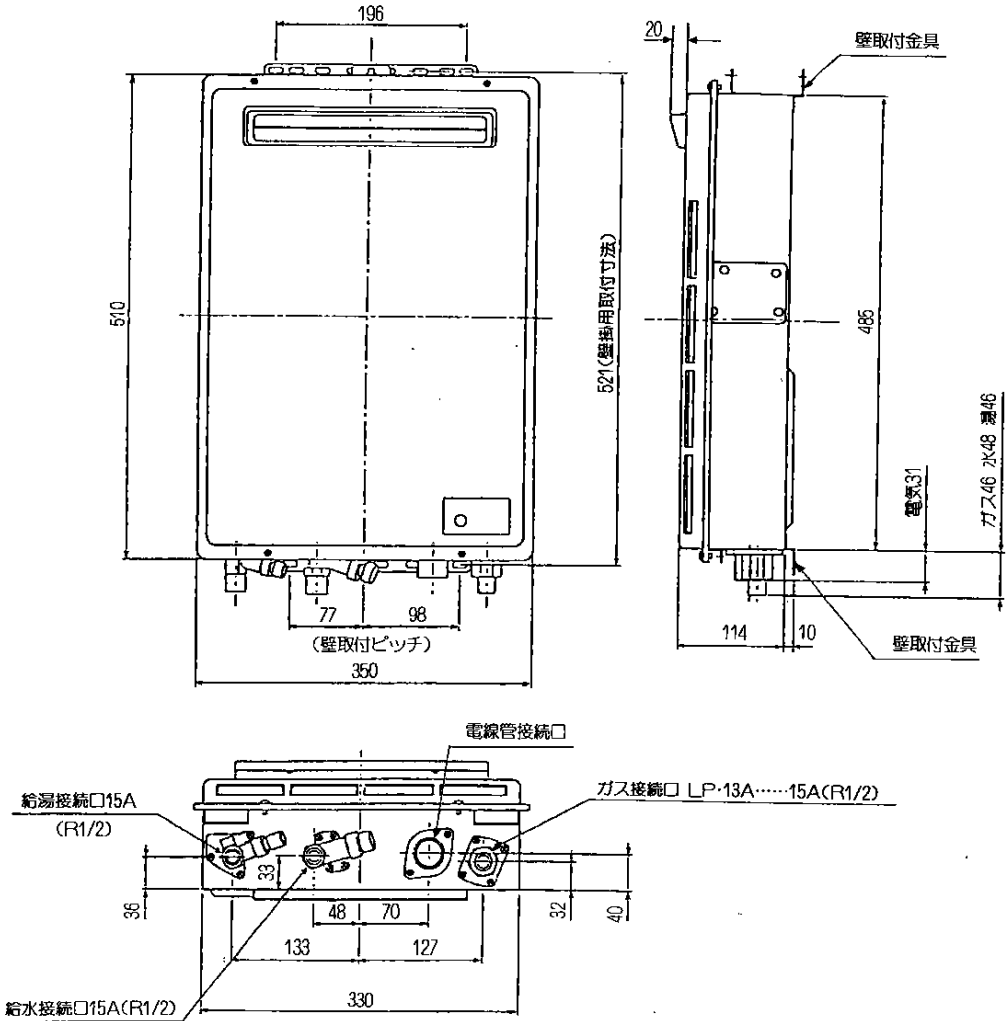
❹過昇温安全装置
この安全装置が作動しても故障ではありません。使用の際に、湯量を極端に絞ったり、水圧が低いときに湯温が過度に上昇することがあるため、過昇温防止装置を設けてあります。湯温が約90℃以上になるとこの装置が働いて、自動的に消火します。

❺漏電安全装置(漏電しゃ断器)
この器具は、万一漏電した場合に漏電安全装置が働いて使用できなくなります。この場合、電源コードのプラグを一度抜き差ししてからご使用ください。
再度同じ現象が起きたときは、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

❻過圧防止安全装置
器具の使用停止直後に熱交換器の余熱により、熱交換器内の圧力が高くなり過圧逃し弁が作動して水がポタポタ出ることがありますが、器具の故障ではありません。この様な場合には床面をぬらしますので不都合が生じるときには、過圧逃し弁の排水処理が必要です。お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。

❼凍結防止装置
13・14ページの「凍結予防方法」の項をごらんください。

ご注意
● 空だき安全装置が作動する際には、器具の損傷を防ぐため過圧防止安全装置(過圧逃し弁)が作動し高温の蒸気が噴出しますので、ご注意ください。

寸法図

33-530·540型(壁掛設置タイプ)

仕様

商品コード	リモコンタイプ	33-530	33-531	33-532	33-533・534	33-537	33-538
	リモコンレスタイプ	33-540	33-541	33-542	33-543・544	――	――
種類	給(出)湯方式	先止め式					
	給排気方式	屋外式					
排気温度(℃)		260℃以下					
点火方式		連続スパークダイレクト着火					
最低作動水量(ℓ/分)		2.5(作動水圧0.1kg/cm²)					
外形寸法(mm)		510×350×114	510×350×104	510×350×150		510×350×134	560×400×134
重量(本体)(kg)		16	15	16		17	18
接続	給水	15A(R1/2)					
	給湯	15A(R1/2)					
	ガス	15A(R1/2)					
電気	電源(V)	AC100V					
	消費電力(W)60Hz	50	50	50		50	50
	凍結予防ヒータ	76					90
安全装置		立消え安全装置(フレームロッド方式)、水量センサー、空だき安全装置、過昇温安全装置、過圧防止安全装置、漏電安全装置(漏電しゃ断器)					
凍結防止対策		凍結予防ヒーター、水抜き栓					
付属品		33-530	33-531・532・533・534			33-537	33-538
		メーンコントローラ 給水・給湯 フレキシブル管	メーンコントローラ			メーンコントローラ 給水・給湯 フレキシブル管	メーンコントローラ 配管継手(S) 転倒防止金具
		33-540	33-541・542・543・544				
		給水・給湯 フレキシブル管	――				
別売部品		シャワーコントローラ 配管カバー(450型) 配管カバー(200型) 排気カバー	シャワーコントローラ 取替用枠	シャワーコントローラ 扉内設置用取付ボックス		シャワーコントローラ 配管カバー(450型) 配管カバー(200型) 排気カバー	シャワーコントローラ 排気カバー 側方排気カバー
日水協認可登録番号		A-5281					

33-530・531・532・533・534・537・538・540・541・542・543・544				
使用ガスグループ		1時間当りのガス消費量 Kcal/h	出湯能力ℓ/分 (ガス消費量最大時)	
			上昇温度	
		最大	25℃	40℃
都市ガス	13A	30,000	(16)	10
LPガス		2.5(kg/h)	(16)	10

備考 ●ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。
●上表の出湯能力( )は、湯水混合栓で混合したとき。

アフターサービス

サービスのお申し込み

サービスのお申し込み

●サービス(点検・修理)を依頼される前に

「故障かな?と思ったら」(16〜19ページ)の項を見て、もう一度ご確認ください。
それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。

●ご連絡の際には次のことをお知らせください。

1. 品名……………………ガス湯沸器
2. 大阪ガス商品コード…器具の正面右下に貼付してあります。

例 (N)33-530 大阪ガス株式会社 05

3. 故障、異常の現象……できるだけ詳しく
4. お客様名、住所、電話番号、道順

転居されるとき

●ガスの種類の異なる地域へ転居される場合

ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。
この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証・補修について

●保証期間中は……

保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。
保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

●保証期間経過後の故障修理について

お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打切後10年間です。

大阪ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

大阪支社	〒550	大阪市西区千代崎3－2－95	TEL(06) 586-3200
南部支社	〒590	堺市住吉橋町2－2－19	TEL(0722)38-1131
北部支社	〒569	高槻市藤の里町39－6	TEL(0726)71-0361
東部支社	〒578	東大阪市稲葉2－3－17	TEL(0729)62-1131
兵庫支社	〒650	神戸市中央区東川崎町1－8－2	TEL(078)360-3100
京都支社	〒604	京都市中京区烏丸御池梅屋町358	TEL(075)231-8151
奈良支社	〒631	奈良市学園北2－4－1	TEL(0742)44-1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1－5	TEL(0734)31-2481
兵庫西支社	〒670	姫路市神屋町4－8	TEL(0792)85-2221
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6－57	TEL(0796)23-2221
湖南支社	〒525	草津市追分町字荒堀680－1	TEL(0775)62-5311
彦根支社	〒522	彦根市大東町12－11	TEL(0749)22-3131
(長浜営業所)	〒526	長浜市南呉服町3－4	TEL(0749)62-7171
本社・ガスビル サービスセンター	〒541	大阪市中央区平野町4－1－2	TEL(06) 202-2221

大阪ガス株式会社

おねがい ガスくさいときは、ガス元栓を閉め窓を全開にして、(火気に注意して)大阪ガス支社またはサービスショップにご連絡ください。

91.2.2000(00)①